

かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2025年新年号 Vol.70



林業をささえる、 センスと技術。

なくてはならない機械や道具を、
見立て、揃え、供給してもらおう。
使い続けることで、メンテナンスや
チューニングは、どうしても必要になる。
見分け、解き、修理してもらおう。
使い手のくせを見抜くまでの
センスと技術が、ここにある。

巳年謹迎
新たに迎える年に、
皆さまのご健康と
ご多幸を、心より
お祈りいたします。



榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 38

日本初本格木造復元 掛川城天守閣開門30周年に思う

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、組合員および関係各位には大変お世話になり、ありがとうございました。本年は巳年。「巳」は脱皮する蛇のイメージから「復活と再生」を意味しているようです。また「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われています。

昨年は、東海の名城と謳われた掛川城が、復元30周年を迎えた記念の年でありました。1994年に市民の熱意のもと日本初の本格木造復元がなされ、それ以来掛川城天守閣は市のシンボルとして市民に愛され続けてきました。当時市長だった我が父(榛村純二)の本格木造への強い思い・こだわりに加え、市民の圧倒的な熱意が日本初の本格木造復元を成しえたのだと思います。

掛川城天守閣は三層四階、250年生の青森ヒバ330㎡が使われています(青森ヒバは国重要文化財の弘前城にも使用)。そのことはご存知の方も多いですが、実は天井板には高知城に使われている魚梁瀬(やなせ)スギ、棟木・母屋には天竜の秋葉神社のスギ、階段にはケヤキが使われるなど、木材調達だけでなんと2億5,000万円かかっています。いま、250年生の大径材はもとより、これだけの木材量をそろえるのはほぼ不可能です。本来は掛川を含めた地域材での掛川城復元を願ひ、それが理想だったのでしたが、当時は圧倒的な大径材不足のため叶いませんでした。

一昨年から掛川城修復作業においては、大径材が必要になるほど木造部分の工事はなかつたようです。しかし、竹林舎建築研究所木岡敬雄先生(掛川城本格復元設計士 故宮上茂隆先生の一弟子)にお話を聞くと、300年後の改修には250年生の大径材が必要とのこと。私は300年後の掛川城大改修に備え、今から掛川城大改修用長伐期育成林を定め、育成していけたらと思っています。この壮大なロマンの実現に向け、2325年に掛川産材大径木によつて掛川城が改修されることを2025年の私の初夢とし、この初夢が正夢となるよう、今後とも皆様のご指導ご協力を賜りますことをお願いし、年頭の挨拶とさせていただきます。

これいい! 購買担当「リエさん」のオススメGOODS!!

チェーンソーの目立てをサポートする

● **コンビゲージ**
¥2,640 (税込)

刃の種類によってゲージの種類が異なりますので、お気軽にお問合せ下さい。

● **しいたけ種駒 にく丸**

1,000ヶ入 ¥4,565 (税込) 500ヶ入 ¥2,530 (税込)

目立てゲージとデブスゲージが1つになった便利な目立て道具です



やすりの正しい角度がこれでわかる!



こまめな刃のお手入れで作業効率アップ!

他の品種はご予約ください(3/10まで)



購買よりお知らせ

春植え山行苗木(スギ・ヒノキ・コナラ・クスギ)の注文を受付しております。配布時期は3月中旬を予定しております。購入希望の方はお早目にご連絡ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1

TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113

<https://www.kakemori.jp>



2022年に店舗をリニューアル



林業の活性化を支えるため、機械や道具は万全であってほしい。あらゆる部品を揃え、使い手の個性を読み解く大切な技術。

長年にわたり、当組合の林業機械・道具、購買品の供給および修理を担っていたら、浜松市天竜区の専門店「山福」さん。あらためて、その仕事の実態をひもとこうと編集委員の宮内・鈴木が訪ねました。

宮内…最初に、山福さんの名前の由来を教えてください。

山下将吾専務…我々の曾祖父で創業者の名前、山下福太郎が社名の由来です。福太郎は静岡県静岡市出身で、山と、ものづくりが好きで、退職後に山福を興したと聞いています。林業用の道具がまだまだ開発途上だった昭和33年頃のことです。当時はお客さんの要望に応じた製品開発にも注力していましたが、現在は機械の販売とそのアフターサービスが主要事業となっています。

宮内…私たち森林組合の仕事は機械や道具なしでは成り立たない、そのメンテナンスの重要性は理解しています。それでもトラブルというのは発生するものなので、いつもスピーディーに修理していただけて本当に頼りにさせてもらっています。

将吾専務…一番重要なのは、お客さんが何に困っているのかを知ることです。「ひとまず、ちゃんと動いてほしい」という個人ユーザーさんの修理もあります。組合さんのようにプロの方だと、機械の修理に加えて仕事のパフォーマンスを最適化するためのチューニングにも気を配る必要があります。

山下和俊常務…そう、機械と使い手の「馴染み」でも言うのではありませんか。お客さんの顔や仕事を想像しながら直す。腕の見せ所ですね。

鈴木…店内の製品数も圧倒的ですが、修理となると製品ごとに部品も異なるということですね。

和俊常務…修理室は、各種メーカーのほとんどの機種が在庫管理をしています。一見、部品が溢れているようですが(笑)「頼みの綱で山福まで来たからなん



林業ジャンルの多彩な機材が並ぶ店内

将吾専務…確かに林業を担う最先端の方々の意見を聞ける窓口として、頼られてるところもあります。メーカーが新製品を開発するときに「どこを改良すればプロの方が喜ぶか」と聞きに来ることがあります。例えば、ある草刈機は本体カバーの中に配線を納めることで、線が傷みにくい構造になっています。これは当社のアイデアが採用されたものです。また、故障した機械をメーカーに戻す際には、ユーザーのフィード

バックと一緒に当社からの改善提案を伝えるようにしています。現場の意見をメーカーに届けることで、より使いやすい道具に改良されるよう働きかけることも、重要なミッションだと感じています。

宮内…ユーザーと機械だけでなく、ユーザーとメーカーも繋いでくださってありがたいです。山福さんの今後のビジョンを教えてください。

将吾専務…「継続」が一番ですね。山の状態、機械のつくり、排ガス規制、人間だって変わっていきます。常にお客さんにとって一番いいサービスを追求し、ただ商品販売するだけではなく、その先にある「使う人に満足していただく」ということを大事にしていきたい。その部分を根幹とし、私たちの存在価値を継続することを目指していきたいと思っています。

掛川市森林組合さんとの協力関係も継続していきたいです!



三人の山下さんから和やかにお話を聞く

株式会社 山福
専務取締役 山下将吾さん 常務取締役 山下和俊さん 営業担当 山下大輔さん (左から) 聞き手: 宮内、鈴木 (編集委員)

コラム・美林掛川へ

持ち前の明るさと正確な経理業務で掛川市森林組合を支えてきてくれた、総務経理課の落合課長。

令和7年3月末に定年退職を控える中、20年という組合職員生活を振り返りながら、お話を伺いました。



就職した当時の組合と、現在の組合と大きな違いがあったのでしょうか?

私が組合に就職した当時(20年前)は従業員が少なく、今の半分くらいでした。平均年齢も高く、就職当時は年季の入った事務所とアナログな事務処理にちょっとビックリしたことを思い出します。今は人数も増えて若返って、デジタル・IT化がとて

進みました。仕事で最もやりがいを感じるのとはどんな時でしたか? 電卓一つから始まって以来、IT化や事務仕事の省力化には注力してきました。ネットバンク、会計ソフト導入、給与の振込…なるべく手書きの処理を減らすなど。そういった試行錯誤がたくさんありましたから、それが成果につながった時はとても嬉しく思いました。



よかったら 会いに来て下さいよ!

後輩職員に伝えたいことはありますか? 常に意欲を持ち、学び続ける姿勢を持つこと。ライフワークバランスをとって心身ともに健康でいること。いい人間関係を築きながら組合のさらなる発展を続けてもらいたいです。

退職後はどのようになっていますか? 退職後は、しっかりと体力づくりをして健康に過ごしたいと思っています。家族との時間を大切に過ごし、地域貢献もしていきたいですね。少し落ち着いたら、就活や終活もするつもりです。

組合や組合員に対してメッセージをいただけますか? この20年間、組合や組合員の皆様をはじめ、関係機関や協力業者の方々には大変お世話になりました。良い人たちに恵まれて楽しく仕事をさせていただきました。皆様を支えていただき、本当にありがとうございました!

お知らせ

掛川市森林組合初の永年勤続表彰を実施!



地域に根差し、森とともに生きる私たち森林組合は、「組織に長い年勤務し、地域や森林に深い知識とかわりをもつ職員」の育成がとても重要です。働きやすい職場環境を整備し、組合に長く勤めてほしい。そのような観点から規程を整備し、このほど、組合では初めて永年勤続者を表彰しました。

25年以上の勤続となる尾崎さんをはじめ、今橋さん、落合さん、長嶋さん、山田(藍)さん、鷺巣さん、須藤さん、舟津さんが対象となりました。表彰者の方々は、それぞれの部署で研鑽を積み重ねながら能力を発揮し、組合の成長と組合員サービスの向上を支えてきました。今後も職員一人ひとりを大切に、働きがいがあり、長く働きたいと思えるような職場を目指して、地域にとって必要な組織作りを目指していきます。

11月6日 山之講

今年も龍尾神社さんに安全祈願の神事を執り行っていました。また、祝詞として奏上した六根清浄について、改めて内容を教えていただく事ができました。清らかな心と強い意志をもって、また1年安全作業に努めていきます。



ファミリー向けしいたけ駒打ち体験会

令和7年3月15日(土)に、組合員の皆様がお得に参加できるようなしいたけ駒打ち体験会、の開催を予定しています。詳細は当組合HP・SNS等にてお知らせいたします。興味のある方は、電話にてお問い合わせください!